

新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

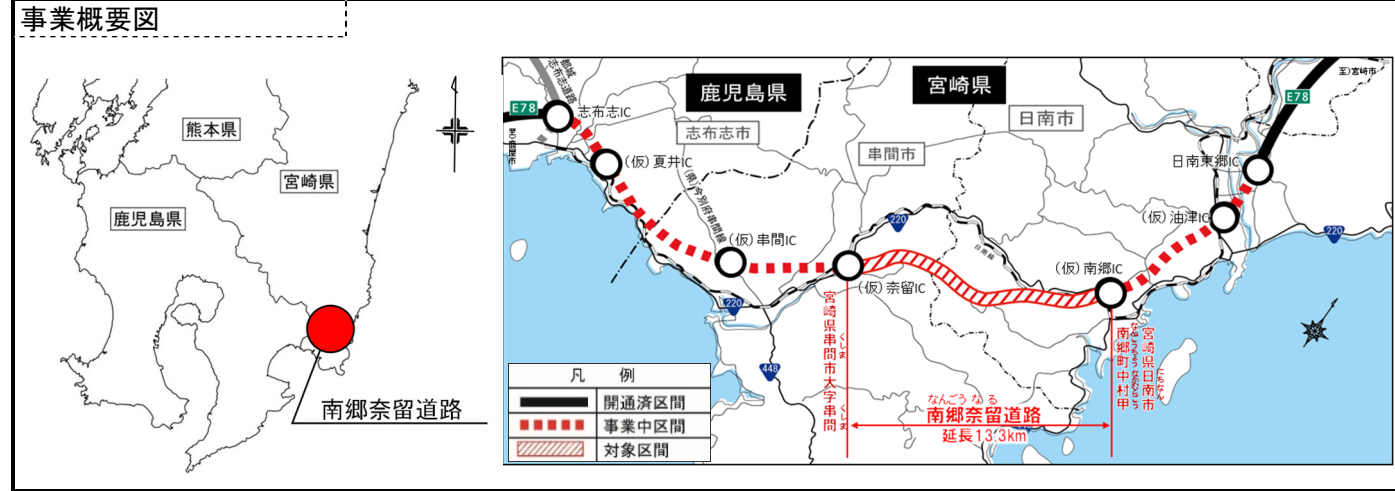
担当課:道路局 国道・技術課
担当課長名:高松 諭

事業の概要

事業名	一般国道220号(東九州自動車道)南郷奈留道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省九州地方整備局
起終点	自:宮崎県日南市南郷町中村甲 至:宮崎県串間市大字串間	延長	13.3 km		
事業概要	東九州自動車道は、福岡県北九州市を起点とし、大分県・宮崎県を経由し、鹿児島県鹿児島市に至る延長約436kmの高規格幹線道路である。このうち、南郷奈留道路は、宮崎県日南市南郷町中村甲から宮崎県串間市大字串間に至る延長13.3kmの自動車専用道路である。				

事業の目的、必要性
当該区間の整備により、防災上危険な箇所を回避し防災機能の向上による信頼性の高い道路ネットワークを形成するとともに、現道の線形不良箇所を回避することで移動の走行性・速達性の向上により、生活環境を改善する。また、宮崎空港と連携した広域周遊観光ルートを形成し、観光振興を支援する。

全体事業費: 約650億円 計画交通量: 約8,600台/日



関係する地方公共団体等の意見

【宮崎県知事】
新規事業採択時評価に係る「一般国道220号(東九州自動車道)南郷奈留道路」事業の予算化について同意いたします。
 当該道路は、県南地域の高速道路ネットワークの一部を形成し、かつ、この地域の主要都市である日南市と串間市を結ぶ重要な道路であり、南海トラフ地震などの大規模災害時や救急医療における安定的な輸送の確保、また、物流効率化による産業支援や広域周遊観光ルート形成による観光振興を図る上で、不可欠な高規格道路です。
 本県としましては、事業が円滑に推進されるよう、土地開発公社の活用も想定した用地買収等を日南市・串間市と最大限協力して取り組むとともに、埋蔵文化財調査の体制確保や県道北方南郷線等からの工事中道路設置等を含めた地元調整への協力、掘削土等の仮置き場や建設残土の土捨て場の確保について周辺自治体と連携し協力いたします。
 また、事業促進のため、関係者(河川管理者等)協議等が円滑に進むよう本県としても積極的に協力し、日南市・串間市とともに地元調整を行ってまいります。
 さらに、将来の県内の道路ネットワークのあり方について、県南地域の状況等を踏まえ、今後目指すべき広域道路ネットワークの検討についても、積極的に実施してまいります。
 つきましては、令和6年度新規事業としての予算化に特段の配慮をお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件	<ul style="list-style-type: none"> ・便益が費用を上回っている。 ・計画段階評価手続き完了(平成26年7月)、都市計画決定手続き完了(平成28年1月)
-----------	--

事業評価結果

費用便益分析 (参考)	B/C	1.002(0.8)	EIRR	4.0%(2.7%)	総費用	4,370億円	総便益	4,379億円	基準年	令和5年
		1.4(1.2) [2%]			事業費	4,098億円	走行時間短縮便益	3,761億円		
		1.7(1.4) [1%]			維持管理費	246億円	走行経費減少便益	499億円		
					更新費	26億円	交通事故減少便益	119億円		
					感度分析	交通量変動	B/C=0.98~1.04(変動ケース:±10%)			
						事業費変動	B/C=0.97~1.03(変動ケース:±10%)			
						事業期間変動	B/C=0.98~1.003(変動ケース:±20%)			

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	歩行者への影響	自動車や	渋滞対策: - 注目すべき影響はない。 事故対策: - 注目すべき影響はない。 歩行空間: - 注目すべき影響はない。
社会全体への影響	住民生活	◎	医療施設への走行性および速達性向上により医療活動を支援し、地域で生活が営める環境を維持。 :平面線形が厳しい箇所:【現況】7箇所 → 【整備後】0箇所 :縦断線形が厳しい箇所:【現況】9箇所 → 【整備後】0箇所
	地域経済	◎	周遊ルートの形成および、観光地間の移動時間短縮による県南地域の一体的な観光振興の支援。 :宮崎空港⇄ダグリ岬の所要時間:【現況】82分 → 【整備後】64分(18分短縮)
	災害	◎	現道の道路寸断時に発生する広域迂回の解消、災害時の救援活動に機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成。 :防災点検要対策箇所:【現況】3箇所 → 【整備後】0箇所 :津波浸水区間延長 :【現況】0.3km → 【整備後】0km
	環境	-	注目すべき影響はない。
	地域社会	-	注目すべき影響はない。
事業実施環境	◎	・計画段階評価手続き完了(平成26年7月)、都市計画決定手続き完了(平成28年1月) ・宮崎県知事、東九州自動車道建設促進協議会などから、南郷~奈留間の早期事業化・整備の要望を受けている。	

採択の理由

費用便益比が1.002と便益が費用を上回っており、計画段階評価、都市計画決定の手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
 また、当該区間の整備により、防災上危険な箇所を回避し防災機能の向上による信頼性の高い高速ネットワークを形成するとともに、現道の線形不良箇所を回避することで移動の走行性・速達性の向上により、生活環境を改善する。また、宮崎空港と連携した広域周遊観光ルートを形成し、観光振興を支援するなど、当該事業の整備の必要性・効果は高いものと判断される。
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
 ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。()内は社会的割引率の値
 ※B/Cの値は、清武JCT~志布志ICを対象とした場合、()書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果。

新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

事業評価結果(防災機能)

事業の必要性		
<p>当該区間の整備により、防災上危険な箇所を回避し防災機能の向上による信頼性の高い道路ネットワークを形成するとともに、現道の線形不良箇所を回避することで移動の走行性・速達性の向上により、生活環境を改善する。また、宮崎空港と連携した広域周遊観光ルートを形成し、観光振興への支援が図られる。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 並行する現道区間には、防災上危険な箇所(防災点検要対策箇所:3箇所)があり、南海トラフ地震発生時に津波被害が発生する区間が約0.3km想定されているなど、防災上脆弱な箇所が存在。 ・ 緊急輸送道路(重要物流道路)である国道220号で災害による通行止が発生した場合は、大きな迂回を強いられ、救命・救援活動に支障をきたすことが懸念される。 	<p>宮崎県国土強靱化地域計画 (R5.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急輸送等のための交通インフラの確保として、東九州自動車道及び九州中央自動車道の事業中区間の早期完成と未事業化区間の早期事業化及び暫定二車線区間の四車線化を要望する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 串間市民病院では受け入れができない重篤患者は県立日南病院(第二次救急医療施設)へ搬送されている。その割合は全体の約2割を占めるが、救急搬送路となる国道220号は道路線形が厳しく、搬送時に救急患者に負担がかかる等、搬送環境に課題が生じている。 ・ また、令和4年には串間市から宮崎大学医学部付属病院(第三次救急医療施設)へ10件の救急搬送があり、年間延べ約4千人が通院しているが、高規格幹線道路が未整備のため、救急搬送、通院に時間を要し、患者に対する負担が生じている。 	<p>未来みやざき創造プラン (R1.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急輸送や救急医療の観点による社会資本整備と適正な維持管理のうち、地域に必要な道路等の整備・維持管理として、災害時における広域的な救命・救助活動及び緊急物資輸送ルートの確保や救急医療への対応に必要な不可欠な高速道路ネットワークの早期整備を促進する。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で、宮崎空港利用客数は減少したが、R4年から国内線利用客数が回復傾向にあり、令和5年9月には国際線(韓国)が就航再開するなど観光産業の回復に期待。 ・ 一方で、高速ネットワークがなく、広域移動や定時性の確保が困難な日南市、串間市においては、コロナ禍で大幅に観光客数が減少したが、現在は増加傾向となっており、開通区間の整備効果も確認されるなど、今後の道路整備に期待。 	<p>宮崎県観光振興計画 (R5.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利便性と満足度向上のための基盤整備のうち、移動環境の利便性向上として、東九州自動車道や九州中央自動車道の早期整備、暫定2車線区間の早期4車線化等に向けた取組を推進する。

事業の有効性									
<p>・ 当該事業の実施により、脆弱度の評価がDランク→Bランクに改善するとともに、災害時の防災機能が強化される。</p> <p>・ また、本事業により、防災上危険な箇所を回避し防災機能の向上による信頼性の高い道路ネットワークを形成するとともに、現道の線形不良箇所を回避することで移動の走行性・速達性の向上により、生活環境を改善する。また、宮崎空港と連携した広域周遊観光ルートを形成し、観光振興の支援が図られるなど、有効性の高い事業と評価する。</p>									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱 度の変化 量	改善度		評価
	県立 日南病院	串間市		整備前	整備後		通常時	災害時	
			8 (1)	1.00 [D] (0.67) [C]	0.25 [B] (0.00) [A]	▲142.35 (▲4.94)			0.22 (0.29)

事業の効率性
計画段階評価手続き完了 (H26.7)、都市計画決定手続き完了 (H28.1)

※道路ネットワークの防災機能の値は、清武JCT～志布志ICを対象とした場合、()書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。